

おわりに

- 県教育委員会においては、この「審議まとめ」に基づき、より具体的な内容について検討を進め「岐阜県立高等学校活性化計画（仮称）」を策定されたい。
- 再編統合関連以外の活性化策及び再編統合関連のうち、グループ2の高校に関する内容については、関係校の活性化を積極的に進めるものであることから、今後、具体的内容についての検討を進め、できるだけ早期の計画実施が望まれる。
- 一方、再編統合関連のグループ1の高校に関する内容については、より丁寧かつ慎重な検討が望まれる。

この場合、将来的なまちづくりと高校の在り方の検討にあたっては、他県の先進的な取組のように、地域が高校とより主体的・積極的に関わることが不可欠である。このため、例えば、関係校ごとに、市町村関係者、保護者や同窓会を含めた学校関係者、地域の経済界・産業界代表等からなる協議会等を設置するなどして、地域課題を踏まえた活力ある学校づくりについて組織的・計画的に検討してはどうか。

その際、「審議まとめ」に示した活性化策の方向性のほか、地域からの提案も含めた内容について、組織的・計画的に実施・検証する必要がある。

ただし、上記のような地域と連携した組織的な活性化策を講じたとしても、入学者の急激な減少等、学校全体の活力低下が懸念される場合がある。

このため、他県の例にあるように、高校への出願状況等、再編統合に関する一定の基準を設けた上で、その基準を満たさなかった場合の具体的な再編統合の方法を事前に示し評価するなど、計画的に活性化策を実施することが必要となる。

- また、この「審議まとめ」に記載のない高校においても、各高校の状況に応じ活性化が図られるような取組の充実・発展が望まれる。
- さらに、施設・設備面での充実が高校の魅力を高める重要な方策であり、各高

校の活性化策に合わせて、計画的な整備が望まれるとともに、県立高校の良さや県立高校生の活躍を、わかりやすく積極的に広報することも必要となる。

- なお、再編統合を含む個別の実施計画については、事前に中学生やその保護者に対して周知するとともに、適切な時期に発表する必要がある。

(参考) 活性化策の方向性(例)について(学区別まとめ)

【岐阜学区】

○ 再編統合関連(検討対象校)について

<グループ1> 該当校なし

<グループ2>

高 校 名	設置学科等	活性化策の方向性(例)
山 県	普通、ビジネスコース	○ 総合学科に改編、専門高校との連携推進、デュアルシステムの導入等について検討

○ 再編統合関連(検討対象校)以外の高校について

高 校 名	設置学科	活性化策の方向性(例)
岐 阜	普通	○ 単位制に改編することについて検討 ○ 国際バカロレアの研究について検討
岐 山	普通、理数	○ 理数科を探究科(仮称)に改編することについて検討
各 務 原	普通、理数、英語	○ 理数科・英語科を募集停止とし、普通科単独校とすることについて検討
羽 島	普通	○ 総合学科に改編、専門高校との連携推進、デュアルシステムの導入等について検討

【西濃学区】

○ 再編統合関連(検討対象校)について

<グループ1>

高 校 名	設置学科	活性化策の方向性(例)
不 破	普通(単位制)	○ 現在の取組を充実・発展し、多様で幅広い学習ニーズに一層対応し、高校卒業後の進路実現を図ることができるような活性化策を検討

<グループ2>

高 校 名	設置学科等	活性化策の方向性(例)
揖 斐	普通、ビジネスコース、生活環境	○ デュアルシステムの導入について検討 ○ 連携型中学の拡充について検討
池 田	普通	○ 当面、現在の取組を維持・発展
海 津 明 誠	普通、情報処理、生活福祉	○ 当面、現在の取組を維持・発展

（【西濃学区】 続き）

○ 再編統合関連（検討対象校）以外の高校について

高 校 名	設置学科	活性化策の方向性（例）
大 垣 北	普通	○ 国際バカロレアコースの導入について検討
大 垣 東	普通、理数	○ 理数科を探究科（仮称）に改編することについて検討

【美濃学区】

○ 再編統合関連（検討対象校）について

<グループ1>

高 校 名	設置学科等	活性化策の方向性（例）
郡 上 北	普通、ビジネスコース	○ 少子化への対応とともに、同一市内の郡上高校との関連の中で、学科構成も含め、生徒の多様な学習ニーズに対応できるような活性化策について検討

<グループ2>

高 校 名	設置学科	活性化策の方向性（例）
関 有 知	普通、生活福祉	○ 生活福祉科の在り方を見極めながら、総合学科を主体とした学校に改編することについて検討

【可茂学区】

○ 再編統合関連（検討対象校）について

<グループ1>

高 校 名	設置学科	活性化策の方向性（例）
八 百 津	普通	○ 少子化への対応とともに、進路先が多様な普通科高校の活性化策として、総合学科への改編やデュアルシステムの導入を基本とした上で、生徒の多様な学習ニーズや進路希望に一層対応できるような活性化策について検討
東 濃	普通（単位制）	

※ 可茂学区において、日本語指導が必要な外国人生徒等に対する取組を充実・発展することについても検討。

<グループ2> 該当校なし

【可茂学区】 続き)

○ 再編統合関連（検討対象校）以外の高校について

高 校 名	設置学科	活性化策の方向性（例）
加 茂	普通、理数	○ 理数科を探究科（仮称）に改編することについて検討

【東濃学区】

○ 再編統合関連（検討対象校）について

<グループ1>

高 校 名	設置学科	活性化策の方向性（例）
瑞 浪	普通、生活福祉	○ 少子化への対応とともに、進路先が多様な高校の活性化策として、総合学科への改編やデュアルシステムの導入を基本とした上で、福祉科を加え、生徒の多様な学習ニーズや進路希望に一層対応できるような活性化策について検討
土 岐 紅 陵	総合	
恵 那 南	総合	
坂 下	普通、生活文化、福祉	

<グループ2>

高 校 名	設置学科	活性化策の方向性（例）
恵 那 農 業	園芸科学、食品科学、園芸デザイン、環境科学	○ 当面、現在の取組を維持・発展
中 津 商 業	ビジネス、ビジネス情報	○ 当面、現在の取組を維持・発展
中津川工業	機械、電気、建設工学、電子機械	○ 当面、現在の取組を維持・発展

○ 再編統合関連（検討対象校）以外の高校について

高 校 名	設置学科等	活性化策の方向性（例）
多 治 見	普通、自然科学コース	○ 自然科学コースを募集停止とし、普通科単独校とすることについて検討
恵 那	普通、理数	○ 理数科を探究科（仮称）に改編することについて検討

【飛騨学区】

○ 再編統合関連（検討対象校）について

<グループ1>

高 校 名	設置学科	活性化策の方向性（例）
高 山 工 業	機械、電気、建築 インテリア、電子 機械	○ 当面、現在の取組を維持・発展
飛 騨 神 岡	総合	○ 少子化への対応とともに、吉城高校を含め、飛騨市内の高校として、高山市内の高校にはない魅力を強く打ち出し、生徒の多様な学習ニーズや進路希望に一層対応できるような活性化策を検討

<グループ2>

高 校 名	設置学科	活性化策の方向性（例）
吉 城	普通、理数	○ 少子化への対応とともに、飛騨神岡高校を含め、飛騨市内の高校として、高山市内の高校にはない魅力を強く打ち出し、生徒の多様な学習ニーズや進路希望に一層対応できるような活性化策を検討

○ 再編統合関連（検討対象校）以外の高校について

困難を抱える生徒や特別な支援を要する生徒のための多様な学習ニーズに対応するため、飛騨学区における多部制高校の必要性について検討。

＜用語集＞

	用語	該当頁(本文)	解説
【あ】	新しいタイプの学校	1、4、6	総合学科、単位制高校、中高一貫教育校等のこと。
	アクティブ・ラーニング	9	教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、生徒の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習法の総称。
【か】	科学技術高校	13、14	理工分野に関する高度な能力や、技術革新に柔軟に対応できるスペシャリストを育成することを目的とした教育環境や教育課程が整備された高校の名称の一つ。
【き】	キャリア教育	11、25	一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方の実現を促す教育。
	教育資源	7、12、13等	「自然」「人材」「施設や機関」等のうち、主に学校教育の利用価値があると考えられるもの。
【ぎ】	技能連携（制度）	15	定時制又は通信制課程に在学する生徒が、技能教育のための施設（当該施設の所在地の都道府県教育委員会が指定）で教育を受けている場合、当該施設での学習を高校の教科の一部の履修とみなすことができる制度。（学校教育法第55条）
【こ】	国際バカロレア	10、11、26等	国際バカロレア機構が実施する国際的な教育プログラム。年齢に応じてPYP（3～12歳）、MYP（11～16歳）、DP（16～19歳）がある。
【さ】	サポート校	22	広域通信制高校(*)に在籍する生徒のために、通信教育の補助あるいは補助的な意図で、教科・科目学習のために講義や添削課題（レポート）指導を行う施設。 * 広域通信制高校 高等学校の通信制の課程のうち、当該高等学校の所在する都道府県の区域内に住所を有するもののほか全国的に他の都道府県の区域内に住所を有する者を併せて生徒とするもの。（学校教育法第54条の3）
【し】	習熟度別授業	20、25	個に応じた指導を目的とした、理解や習熟の度合いに応じた学級編成による授業。
	主権者教育	4	学校の政治的中立を確保（教育基本法第14条の2）しつつ、生徒が有権者として自らの判断で権利が行使できるための具体的かつ実践的な教育。（総務省・文部科学省：政治や選挙等に関する高校生向け副教材「私たちが拓く日本の未来」活用のための指導資料より）

	用語	該当頁(本文)	解説
【じ】	自己肯定感	2、15、18	自分の存在や価値を肯定する感覚や感情のこと。
	自己有用感	2、15、18	他者との関係の中で、自分の存在を価値あるものと受け止められる感覚や感情のこと。
【す】	SGH (スーパーグローバルハイスクール)	9、10、14等	文部科学省が指定した国際的に活躍できる人材育成を重点的に行う高校。
	SSH (スーパーサイエンスハイスクール)	9、10、14	文部科学省が指定した科学技術や理科・数学教育を重点的に行う高校。
	SPH (スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール)	14	文部科学省が指定した社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、先進的な卓越した取組を行う専門高校。
	スクールカウンセラー	22	臨床心理に関し高度に専門的な知識、経験を有する者であり、教員等とは異なる立場で児童生徒へのカウンセリングをしたり、教職員及び保護者に対する助言や援助をしたりする専門員。
【せ】	生徒いきいきプラン	4	岐阜県教育委員会の県立高校の再編整備計画 (H14. 4. 16 発表)。 高校を一定規模に保つことにより教育水準や活力を維持し、また、総合学科や普通科単位制高校等、新しいタイプの高校・学科を設置することにより学びの選択肢を一層拡大するなど、県立高校を再編成し未来を担う子どもたちの立場に立ったより一層魅力ある高校づくりを進めることを目的としたもの。
	専門学科	1、9、11等	専門教育を主とする学科のこと。(高等学校設置基準第5条) 本県には、農業科、工業科、商業科、生活産業科(家庭科・福祉科)、情報科、理数科、英語科、音楽科、美術科がある。 ※この<審議まとめ>では、理数科、英語科、音楽科、美術科を普通科系専門学科、それ以外を職業系専門学科としている。
【ぜ】	全日制普通科単位制	4	学年による区別がなく、学校が定めた単位数を取得すれば卒業が認められる全日制の普通科高校。主に普通科目が開講され、生徒は自分の進路決定に必要な科目を選択でき、主体的に学ぶことができる。多くの科目が開講されているために、少人数授業も数多く開講されている。(岐阜県教育委員会「生徒いきいきプラン」発表資料より)

	用語	該当頁(本文)	解説
【そ】	総合学科	4、11、12等	普通教育及び専門教育を選択履修を旨として総合的に施す学科のこと。(高等学校設置基準第5条・第6条の3) 「普通科」と「専門学科」のよさをあわせもった学科。生徒はきめ細かい進路指導の下、幅広い分野の学習をする中で、自己の能力や適性を見出し、進路希望や興味関心に応じて、普通科目と専門科目にわたる幅広い科目が選択できる。(岐阜県教育委員会「生徒いきいきプラン」発表資料より)
	総合学学科的なカリキュラムの編成	11、22、23等	生徒の興味・関心、進路希望等に応じて幅広い科目選択ができるよう、普通科においても、総合学科のように、専門科目や学校設定科目等を教育課程に位置づけるもの。
【た】	多部制(高校)	4、15、22等	「定時制課程」の高校の中でも、午前、午後、夜間に授業を行う高校。生活ペースや勤務条件に合わせて好きな時間帯を選択することができる。(岐阜県教育委員会「生徒いきいきプラン」発表資料より)
	単位制	15、21、22等	学年による区別がなく、学校が定めた単位数を取得すれば卒業が認められる制度。生徒は自分の進路決定に必要な科目を選択でき、主体的に学ぶことができる。多くの科目が開講されているために、少人数授業も数多く開講されている。
【だ】	第2次岐阜県教育ビジョン	1、3、4等	本県の教育振興基本計画のこと。第2次岐阜県教育ビジョンは平成26年3月策定。
	大学入学者選抜の一体的改革に関する中央教育審議会からの答申	7、21	中央教育審議会答申「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について」(H26.12.22)のこと。
【ち】	地域社会人	3、5、10等	「岐阜県教育ビジョン」における表現。 本県で生まれ育った子どもたちが、将来このふるさと岐阜の地に根をおろし、3つの力(自立力・共生力・自己実現力)をバランスよく身に付けながら、 ①社会を生き抜くための確かな学力と自己肯定感に裏付けされた豊かな人間性を備え、 ②高い志とグローバルな視野をもって未来を切りひらく新しい価値を創造し、 ③個人や社会の多様性を尊重しつつ、持続可能な地域社会づくりに貢献するとともに、 ④「清流スピリット(*)」を次の世代へとつなげていくことができる 人材を地域社会人と位置付けている。 *清流スピリット 「岐阜県教育ビジョン」における語句。ふるさと岐阜への誇りと愛着をもち続けながら、清く、優しく、たくましく生きていこうとする心のこと。

	用語	該当頁(本文)	解説
【ち】	中高一貫教育校	6、7、8	6年間の一貫した教育を行う中で、学校教育における教育内容・方法を改善させ、生徒の個性の伸長を図り、中等教育の質の向上を図ることを期待された教育制度。 (岐阜県教育委員会「岐阜県における中高一貫教育の基本方針」より) 中等教育学校、併設型中高一貫教育校、連携型中高一貫教育校の3つの形態がある。
	中等教育学校	7	中高一貫教育校の1つ。前期中等教育(中学校)と後期中等教育(高校)を1つの学校として一体的に中高一貫教育を行うもの。
【て】	定通併修(制度)	15	以下の場合に修得した単位を卒業に必要な単位に含めることができる制度。(高等学校通信教育規程第12条) ①定時制課程に在学している生徒が自校または他校の通信制課程で一部の科目の単位を修得した場合 ②通信制課程に在学している生徒が自校の定時制または他校の定時制もしくは通信制課程で単位を修得した場合
	転・編入学	15	転入学: 高校に在籍する生徒が他の高校の相当学年に学籍を移すこと。 編入学: 海外から帰国した者、特別支援学校の高等部や高等専門学校等に在学する者、高校を中途退学した者等が、第1学年当初以外の時期に高校へ入学すること。
【で】	デュアルシステム	9、11、23等	企業実習と教育・職業訓練の組合せ実施により若者を一人前の職業人に育てる実践的な教育・職業能力開発の仕組み。
【と】	TOEFL	9	Test of English as a Foreign Languageの略称で、アメリカ合衆国のNP0であるEducational Testing Service(日本語: 教育試験サービス、ETS)が主催している外国語としての英語のテスト
	TOEIC	9	Test of English for International Communicationの略称で、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテスト
【ふ】	普通科系専門学科	1、9、26	専門学科のうち、普通教育をより高度に拡充させた専門教育を行う学科のこと。本県には、理数科、英語科、音楽科、美術科がある。
【へ】	併設型 中高一貫教育校	6、7、8	中高一貫教育校の1つ。高等学校入学者選抜を行わずに同一の設置者による中学校と高校を接続するもの。

	用語	該当頁(本文)	解説
【ゆ】	ユニバーサルデザインの授業（授業のユニバーサルデザイン化）	17、22	<p>教室環境の工夫、板書等のルールの明確化・共通化、視覚的な支援、生徒への質問や教師からの説明の工夫等、誰にでもわかりやすく、安心して参加できる教育環境を意識した授業や指導方法のこと。</p> <p>（例）シンプルな黒板（板書）構成、使用するチョークの色の統一、ねらいや授業内容の見通しを明確にした指導、視覚教材の有効活用、教師からの具体的でわかりやすい指示、教師の話し方の工夫（声の大きさ、抑揚、スピード等）、掲示物の掲示場所の統一、肯定的評価等。</p>
【り】	理数科	9、10、25等	<p>専門学科のうち、理数に関する学科のこと。（高等学校設置基準第5条・第6条の2）</p> <p>専門教科「理数」に属する科目のうち「理数数学Ⅰ」、「理数数学Ⅱ」、「課題研究」の3科目並びに「理数物理」、「理数化学」、「理数生物」及び「理数地学」から3科目が、高等学校学習指導要領により原則履修科目として指定されている。</p>
【れ】	連携型 中高一貫教育校	7	<p>中高一貫教育校の1つ。市町村立中学校と県立高校等、異なる設置者間でも実施可能な形態であり、中学校と高校が教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深めるかたちで中高一貫教育を実施するもの。</p>